

温故知新



KY禁句集 ～こんな常套句はダメ～

どんな危険がありますか

高所からの転落

手を挟まれる

つまづき転倒する

第三者との接触

良い例

- ◎ 足場の端部から墜落する
- ◎ 立ち馬の昇降時に転落する
- ◎ PAC仮置き時に手を挟む
- ◎ パイプ台車片付時指を挟む
- ◎ 鉄筋に足をとられて躓く
- ◎ 長尺物が歩行者に当たる
- ◎ 仮囲い出入りで出会い頭

だからこうします

安全带使用！

保護具の着用

足元注意！

周囲の確認！

良い例

- ◎ 足場端部に背を向けない
- ◎ 昇降はゆっくり落ち着いて
- ◎ 施工時は手袋を着用
- ◎ 段差表示または区画をする
- ◎ 必ず2人以上で作業する
- ◎ 監視員を設置する

【今号の主な内容】

- P① KY禁句集
- P② 年末年始労働
- P③ 施工検討会
- P④ ことわざ・次回案内



発行

野田工業 株式会社
 東京都中央区銀座6-6-19
 TEL : 03-3572-1866

ことわざ・格言にならう安全衛生訓

● 急がば回れ ●

・手抜き近道は事故のもと



「急がば回れ」とは、急ぐときには危険な近道よりも、少しぐらい遠回りでも、安全な道を通ったほうが結果的には早く着く場合が多いものです。多少時間や手間がかかっても、安全で確実な手段をとったほうが良い、という意味です。「近道は遠道、遠道は近道」、「走ればつまずく」、「急いで事は仕損じる」などともいいます。

たしかに、職場の事故や災害などを振り返ってみると、急いでいたためにチェックや確認をしなかったとか、安全装置や保護具を使わなかった、既定の通路を通らなかった、などの事例が多いようです。通勤などで急いでいた時にも同じようなことを体験されているのではないのでしょうか。

もちろん、私たちの作業の中では、急いで処置しなければならないこともたくさんあります。そのためには近道も必要でしょう。しかしその場合には、この近道にはどんな危険があるか、その対策はどうすれば良いかなどの事前の検討が必要です。やはり「急がば回れ」なのです。

ご参加ください

【 職長会のお知らせ 】

- ★日時 2020年12月21日(月)
- ★時間 18時00分～
- ★会場 銀座ユニーク 3階



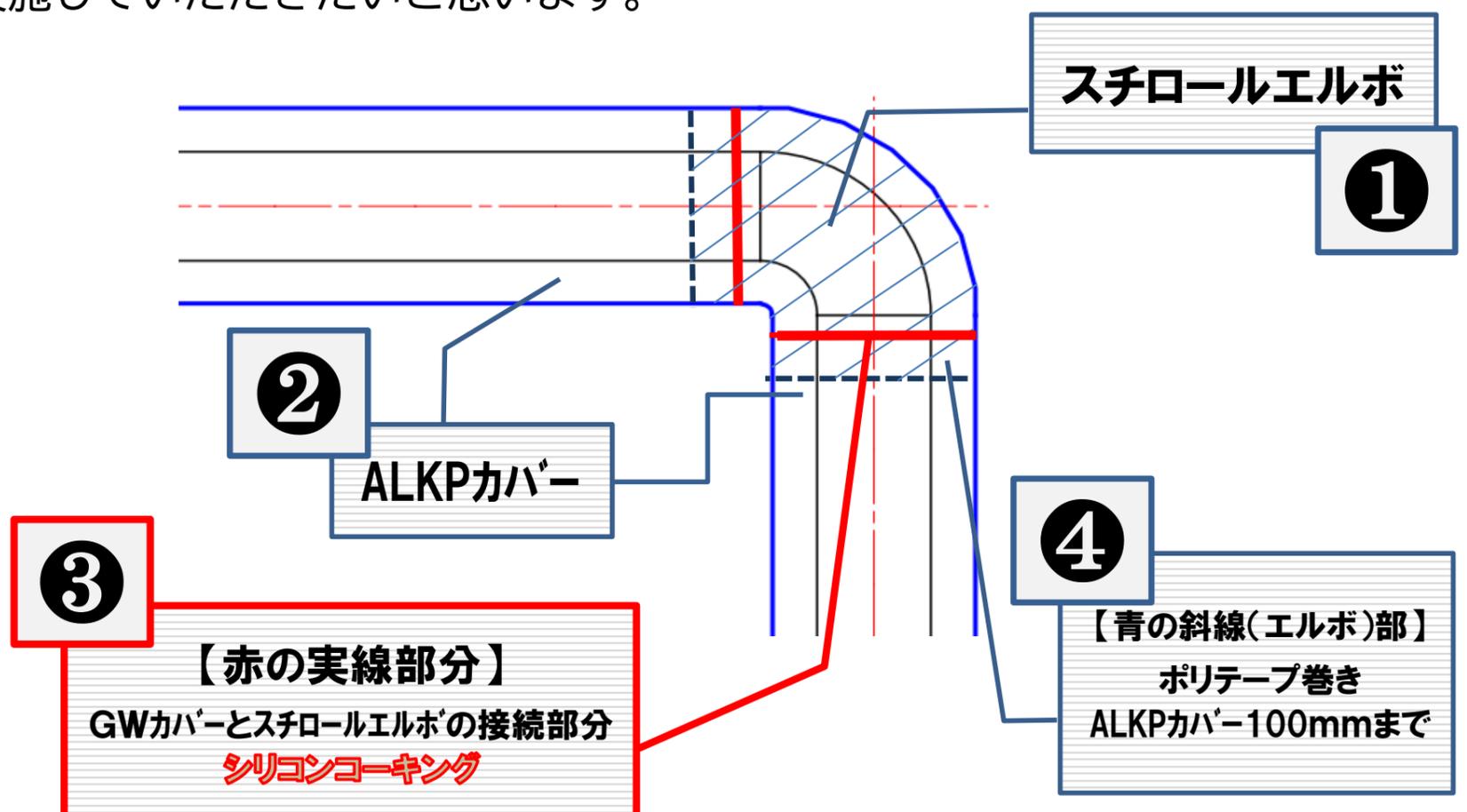
野田工業株式会社

施工検討会

今月の議題

◎ 冷水管・冷温水管のエルボ部分の施工方法について

・ 今月は冷水管及び冷温水管のエルボ部分の施工について統一を図りたいと思います。
 今後、野田工業(株)といたしましてはこの施工方法を正とし、現場において実施していただきたいと思ひます。

冷水・冷温水のエルボ部
施工順序

- ① スチロールエルボの取り付け
- ② ALKPカバーの取り付け
- ③ GWカバーとスチロールエルボの接続部に**シリコンコーキング**
- ④ ポリテープ
- ⑤ ALKテープ

令和2年度

建設業年末年始労働災害防止強調期間実施要領

強調期間スローガン

無事故の歳末 明るい正月

本期間

令和2年12月1日～

令和3年1月15日

会長メッセージ

はじめに、今年に入り新型コロナウイルスへの感染が世界中に拡がり、我が国においても国民生活や経済活動に対する制限など大きな影響を受けました。

そして、現在もこのウイルスへの感染予防対策の徹底が強く求められており、引き続き「三つの密」を避けると共に、必要な感染予防措置を講じていただきますようお願いいたします。

さて、当協会では年末年始の労働災害防止を目的として、本年度も12月1日から令和3年1月15日までを「建設業年末年始労働災害防止強調期間」と定め、会員各位が取り組むべき事項を盛り込んだ本実施要領を作成いたしました。

建設業における労働災害は、会員各位をはじめ関係者の熱意と日々の地道な安全衛生管理活動により、その発生件数は長期的に減少傾向にあります。本年10月現在の速報値を見ると、建設業における死亡者数は180人で前年同期比7人増、休業4日以上之死傷者数は9,692人で前年同期比98人減となっています。さらに、建設業の労働災害で最も多い墜落・転落災害による死亡者数は65人で前年より6人減となっておりますが、依然として全体の約4割を占めており、高所作業における作業床・手すりの設置、フルハーネス型安全帯の使用をはじめとした墜落・転落災害防止対策の一層の推進をお願いいたします。建設業では、激甚化する自然災害からの復旧・復興工事に加え、国土強靱化を実現するためのインフラ整備工事等が全国各地で行われております。一方でこれから迎える冬期には凍結や降雪等に伴う労働災害や火災による事故、年末年始の工事の輻輳化などによる労働災害発生リスクの高まりが懸念されます。このような状況を踏まえ、今一度、労働災害防止活動の強化に取り組んでいただきたいと思います。

特に、労働災害防止活動を実効あるものとするために、店社及び現場でのリスクアセスメントの確実な実施と、より快適な職場形成を目指して改訂された「建設業労働安全衛生マネジメントシステム」（ニューコスモス）の積極的な導入・運用を図ると共に、現場で働く人の健康の保持・増進に向け、「建災防方式健康KYと無記名ストレスチェック」の実施など、現場のメンタルヘルス対策を積極的に進めていただきたいと思います。

会員各位をはじめ関係者全員が一丸となり、経営トップのリーダーシップの下、本実施要領に示された事項に取り組んでいただき、「無事故の歳末 明るい正月」のスローガンの下、無事故・無災害で新しい年を迎えられますよう、心より祈念申し上げます。

令和2年 11月

建設業労働災害防止協会
会長 今井雅則

